



熊本市立大江小学校

ときめき

2023.2.15(水)

No.151



文責
松永

給食記念週間に合わせて様々な取組が行われました③

1月24日からの「全国給食記念週間」に合わせて、給食時間に私から話をしました。オンライン配信を準備している時に、画面の向こうに映し出された、給食をおいしそうに食べる子どもたちの表情を目にすることができて、嬉しくなりました。今回は、栄養のバランスがとれているおいしい給食を調理されて



いる様子を紹介して、たくさんの食材のいのちをいただいていること、そして多くの方の手によって給食ができていいることから感謝の気持ちを忘れないでほしいといった思いを伝えました。私自身、はじめて給食を食べてから50年以上経っています。その間に、食器も献立も変わってきています。先生になって通算してみたところ、約7000回も給食を食べてきたことに…ビックリです。



今でも給食は楽しみです。私の好きなメニューの一つであるカレーの日の調理の様子を、栄養教諭の中村先生が写真に撮っていましたので、子どもたちにも紹介しました。



あらう



切る



炒める



煮る



ゆでる



冷やす



あえる

おいしい給食が
できあがりました！

お世話になっています



担任をしていた時に、「食べ物を残すなら、食べることに困っている国で行くと、そこでは感謝される」という言葉を耳にしたことがあります。私たちの身の



回りには、食べ物がたくさんあって、選ぶことだってできます。でも、世界には食べることさえきびしい国、子どもがいます。恵まれている私たちは、食べ物を粗末にはいけない…と、クラスの子もたちと話し合っ、残菜ゼロの取組をしたこともあります。今、食べている給食も、たくさんのいのちをいただいています。だから心をこめて「いただきます」を言ってほしい！そう言って話を閉じました。